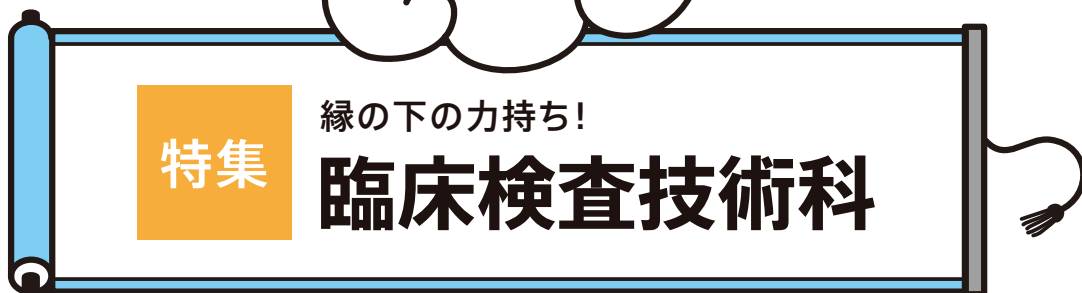




堺市立総合医療センターと市民の健康をつなぐ広報誌

# ぞうさん広場

vol.  
28



地方独立行政法人 堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

SAKAI CITY MEDICAL CENTER



縁の下の  
力持ち！

# 臨床検査技術科



外見からはわからない病気の可能性を  
発見する検査のプロフェッショナル

※撮影時のみマスクを外しています。

## 患者さんの診療に 不可欠な検査を担当

医師が患者さんを診療する際には、判断の根拠となるデータが必要になります。臨床検査技師の仕事は、患者さんの身体や検体（血液や尿など）から採取されたものをさまざまな機械を駆使して検査し、診療に必要なデータを集めて正しく報告することです。血液や尿を用いた検体検査、心電図や脳波などを調べる生理検査、細菌感染を調べる細菌検査、がんの有無などを調べる病理検査など、院内で検査技師が求められる場面は非常に多く、現在は約50名が所属しています。日々の検査業務に加えて、糖尿病や脳卒中など特定の疾患を専門とする各センターに参画することでチーム医療にも貢献し、患者さんへの適切な診断や治療を支えています。当院の臨床検査技術科は、迅速性が強く求められる救急医療や、精度が求められる高度医療など幅広く対応できる柔軟な検査体制が特徴です。

## 新型コロナウイルスの 検査にも対応

臨床検査技術科では、新型コロナウイルスの検査も担っています。対象は、発熱外来にいられた方、救急車で搬送された方、入院患者さん、そして当院の医療従事者です。検査は約1時間で結果が判明する感度の高い抗原定量検査を使用し、判定保留となった場合はPCR検査で精査を行っています。PCR検査ではコロナウイルスの有無や変異株を調べる検査も行っています。さまざまな検査機器を使い分けることで、効率的な検査を実現しています。また、日々の検査件数や陽性者数などのデータを基に、新型コロナウイルスに対する病院としての対応を決定しているため、コロナ禍におけるスムーズな病院運営に貢献しています。



臨床検査技術科  
技師長  
佐々木 伸也 さん



# 国際規格「ISO15189」の 認定施設になりました！

当院は2022年3月に堺市二次医療圏で初めて臨床検査における国際規格「ISO15189」の認定施設になりました。その経緯や認定施設のメリットなどを副技師長の福原さんに聞きました。

## ISO認定を目指した 約3年の準備期間

ISO認定は申請後すぐに認定されるわけではありません。まずは審査を受けるための条件を満たす必要があります。受審条件は、ISOの規定に則った臨床検査室の環境で一定の運用実績があることです。そのため、臨床検査技術科では全部門（検体検査・生理検査・細菌検査・病理検査）でISO15189が求める品質や運用の規定に沿った手順書を約2年かけて準備しました。さらに約1年の運用実績を積み必要があったため、取得を目指し、品質管理文書や手順書の改定・改善を続け、約3年を経て認定を受けることができました。

## より安心で安全な 診療につながる

ISO15189の認定施設になったということは、当院の臨床検査室が世界共通のルールに則って運用できているということです。ISO15189

の適切な品質管理システムにより、全検査技師の仕事の責任が明確になりました。また細かく規定された手順に沿って業務することで、検査結果の正確さと安定性が向上しました。スタッフの教育も標準化され、評価基準が明確になりました。個人のスキルが可視化されるので、その人の能力に応じた業務を責任をもって実施しています。患者さんにとっては、信頼性の高い検査結果に基づいた診療を得られる点で安心や安全につながっています。



臨床検査技術科  
副技師長  
福原輝希さん

## 未来の医療への貢献

臨床検査技術科は、治験を行っている治験推進室とも連携をしています。治験とは、新しい治療方法や薬の効果や安全性を確かめる目的で、健康な人や患者さんに対して行われる試験のことです。治験は非常にデリケートな試験なので「特定の条件で保存された検体が必要」といった規定が多くあります。臨床検査

技術科はISO認定を取得する際に多くの規定をクリアしているため、治験で求められる条件を満たした検体や検査結果を用意できるようになりました。新しい治療方法や薬に関して、検査部門として協力することで、医療や医学の発展にも貢献しています。





## 糖尿病センター

**糖** 尿病センターでは糖尿病を持つ方に対して栄養や療養の指導を行い、血糖・血圧・コレステロールなどのコントロールを支援しています。また、1週間の教育入院では、多職種による講義で糖尿病に関する正しい知識をお伝えしています。臨床検査技師は4名参画し、患者さんの健康状態の確認や治療方法を選択する際に必要な検査データの提供、解釈をサポートしています。糖尿病教室では、検査に関わる講義を担当し、患者さんが望ましい療養行動を開始・維持できるモチベーションとなる検査結果の意味や解釈などをお伝えしています。聴講する方の年齢層は幅広く、一人ひとり状況も違うため、全員にわかりやすい説明を心がけています。そのほか、全病棟の血糖測定機が正常に作動するか管理するのも仕事です。年5回ほど開催していた市民健康講



座はコロナ禍で実施できていませんが、無料で血糖測定が受けられる講座など、いろいろと企画しています。糖尿病に興味がある方に正しい知識を学んでいただくため、いち早く再開できるように調整していきたいと思っています。



しばち 芝地 みゆきさん

はしづめ すみお 橋詰 澄夫さん

## 臨床検査技師を紹介

**脳** 卒中を発症した患者さんに対して専門治療を行い、早期離床、リハビリ、再発防止まで包括的な医療を提供するのが脳神経疾患センターです。臨床検査技師は脳卒中や脳卒中疑いの患者さんの血液を採取後、25分以内に検査結果を報告することを目標としています。たとえば血管が詰まって起きる脳梗塞は、発症から4.5時間以内であれば血栓を溶かすtPA治療が可能ですが、患者さんがtPA治療に適応するかは検査をしないとわかりません。そのため、1分でも早く検査結果を報告するために、脳神経内科・脳神経外科と協力して脳梗塞用の緊急検査キットを作りました。多数の検体が集まる臨床検査室で、脳梗塞患者さんの検体であることがすばやく判別でき、治療に必要な検査項目を優先的に測定できるため、検査時間の



短縮につながっています。また、当センターの取り組みの1つとして、検査の進行状況を全員に共有できるアプリも試験運用するなど、常に検査の質を保ちつつ効率化できる部分がないか意識しています。



みやざき ひろゆき 宮崎 博之さん

## 脳神経疾患センター

## AST(抗菌薬適正使用支援チーム) ICT(感染制御チーム)

**A**ST(抗菌薬適正使用支援チーム)とICT(感染制御チーム)は、細菌検査を担当する臨床検査技師が所属しています。細菌検査では、患者さんから採取した検査材料(血液・尿・喀痰など)を調べ、尿路感染や肺炎など多様な感染症の原因となる細菌の種類を特定し、抗菌薬の感受性試験を行います。同じ感染症でも原因菌はさまざまです。そのためASTでは患者さんごとにどの抗菌薬が有効かを検証し、適切な治療につなげています。また、不適切な薬の投与によって生まれてしまう、抗菌薬が効きにくい耐性菌の出現を防ぐことも大きな役割です。一方ICTでは院内の耐性菌による感染対策を担っています。患者さんの検体に耐性菌が発見された場合にいち早く医師へ報告するとともに、菌種と発生源を究明します。ICTの報告をもとに感染対策が迅速に実施されます。また、実際に病棟を回って、適切な感染対策が行われているかをチェックし、指導することも役割です。両チームとも、病院全体を感染症の脅威から守る重要な部門です。



すずき くみこ  
鈴木 公美子さん

まつたに しおり  
松谷 志織さん

## チーム医療に貢献している

**N**ST(栄養サポートチーム)は、入院中で栄養状態が懸念される患者さんに対して適切な栄養管理を行うためのチームです。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師や言語聴覚士など多職種で構成されており、点滴や食事の選択から嚥下のサポートまで多面的に患者さんを支えています。臨床検査技師は、患者さんの栄養評価に用いられる各種検査データを提供することで、患者さん一人ひとりにその後どのような栄養管理を行っていくかを判断するサポートを行っています。栄養管理はすべての治療の土台となるため回診の対象となる患者さんが多くいらっしゃいます。週4回実施される回診では、事前に必要な検査項目を医師の代わりに検査しておくことで円滑な回診に貢献し、患者さんからの食事に関する疑問や希望も伺っています。また、回診用の検査と並行して外来患者さんへの通常検査も行っているため、常に優先順位を考えながら臨機応変に検査することで、どちらの患者さんもお待たせしないように心がけています。



いしばし まりこ  
石橋 麻里子さん

やべ ともか  
矢部 知佳さん

## NST(栄養サポートチーム)



登録医とは、患者さんに継続的な医療を提供するために、当院と連携している地域の医療機関(かかりつけ医)のことで、地域医療の要を担う登録医の先生を紹介します。



## 北区長曾根町



脳神経外科・脳神経内科・リハビリテーション科

## てらもと脳神経外科クリニック

堺市北区長曾根町3082-1

■大阪メトロ御堂筋線「なかもず駅」より徒歩約2分、  
南海高野線「中百舌鳥駅」より徒歩約6分

☎072-240-2021

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
14:00~16:00	△	△	△	/	△	/	/
16:00~19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診:木・土曜の午後、日曜、祝日  
△:14:00~16:00は予約のみ



当院は頭痛やめまい、手足のしびれから認知症や物忘れまで、脳や頭のあらゆる症状に対応しています。脳卒中を中心に脳神経外科医として培ってきた経験から、早期発見や治療後のサポートの重要性を痛感しました。そのため当院では、MRI検査や脳ドックから理学療法士によるリハビリまで対応しています。早期発見はもちろん、後遺症のある患者さんのサポートや再発防止にも努めています。脳や頭に関するさまざまな悩みを相談できる、敷居の低い診療所を目指して邁進します。



てらもと よしふみ  
寺本 佳史 院長

### Q 診察のモットーは？

すべては「患者さんのために」です。医師の判断を押し付けるのではなく、いくつかの選択肢を提示し、ともに選んでいくことで納得感のある診療を心がけています。そのためには、患者さんの話を丁寧に聞くことが大切なので、毎朝自分に「今日も丁寧に」と言い聞かせています。

### Q 貴院の強みは？

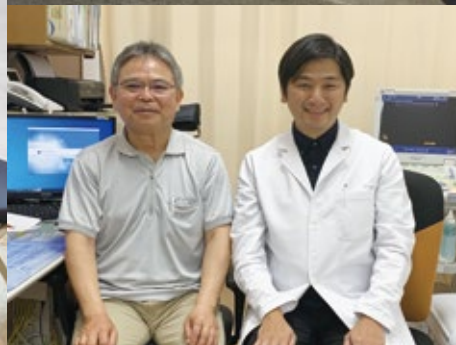
MRI検査装置を導入しているので、大きな病院を受診しなくてもMRI検査を受けられるところです。また、その結果は可能な限り当日にご説明するようにしています。時間がなくて病院に行けない方や、病院に行くべきなのか迷っている方はご相談ください。

### 地域の患者さんへのメッセージ

脳神経外科のクリニックは地域に少なく、ご来院にハードルを感じる方も多いかもしれません。実際には、ちょっとした頭痛やめまいで来院される方も多いので、気軽にご相談いただければと思います。

# 当院の登録医の先生をご紹介します

## 西区家原寺町



内科・循環器内科・リハビリテーション科

## 家原寺いけだクリニック

堺市西区家原寺町1-13-11

■JR阪和線「津久野駅」より徒歩約10分

☎072-260-3377

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	△	○	○	○	/
14:30~19:00	○	○	/	○	○	/	/

休診：水・土曜の午後、日曜、祝日  
△：水曜午前は予約検査のみ



2022年10月より、前任の加藤院長から引き継ぎ、家原寺いけだクリニックを開院しました。加藤前院長も私も循環器内科が専門なので、心臓や血管の病気をご相談いただけます。一般的な心電図やレントゲンに加えて、狭心症・動脈硬化・不整脈などの詳しい検査にも対応できるのが強みです。小さなお子様からご高齢の方まで気軽にご相談いただけるように、また地域の皆様の健康に責任を持つ医師となるように、病院名に「家原寺」と入れさせていただきました。



いけだ ともゆき  
池田 智之 院長

### Q 診察のモットーは？

不安や悩みが解消された安心感や健康に関する豆知識、看護師や事務員との談笑など、何か一つでも当院に来てよかったと思えるようなお土産をお渡しすることです。

### Q 休日の過ごし方は？

家族で山登りやスーパー銭湯に行くことが多いです。勤務医時代はなかなか家に帰れなかったのが、現在は家族と過ごす時間の大切さを実感しています。

### Q 訪問診療はありますか？

はい。加藤前院長と2人体制なので、訪問診療にも24時間対応可能です。コロナ禍で面談が難しくなった背景もあり、需要は高まっています。最期まで責任を取れる診療所でありたいと思っています。

### 地域の患者さんへのメッセージ

来院されたときよりも、帰宅されるときのお顔が晴れやかになるような診療を心がけています。気軽に相談できて、地域に愛される診療所を目指して、加藤先生とともに頑張りますので、よろしくお祈りします。



# 冬の旬 Recipe

## 身体ぽかぽか 鶏つくねの生姜スープ



生姜の辛味成分である「ジンゲロン」と「ショウガオール」には、血行を促進する効果による発汗作用があり、身体の芯から手足の先まで温めてくれます。また、免疫力の向上や風邪を予防する効果も期待できます。寒い冬を乗り越えるために、身体が温まる生姜のスープはいかがでしょうか。野菜はお好みにアレンジしていただいてもOKです。

栄養価 (1人分) エネルギー: 126kcal 塩分: 1.5g

### 材料 (2人分)

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鶏ひき肉 …………… 100g</li> <li>豆腐 …………… 30g</li> <li>れんこん …………… 20g</li> <li>塩 …………… 少々</li> <li>白菜 …………… 1枚</li> <li>しいたけ …………… 2枚</li> <li>にんじん …………… 20g</li> </ul> | <p><b>B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鶏ガラスープの素 …… 小さじ2</li> <li>おろし生姜 …………… 小さじ1/2</li> <li>水 …………… 300ml</li> <li>きざみねぎ …………… お好み</li> </ul> |
|---|--|

### 作り方

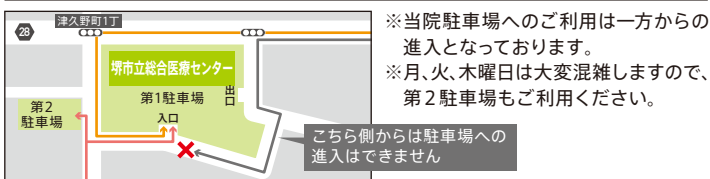
- ①豆腐はキッチンペーパーで水気をとっておく。
- ②れんこんはみじん切りにする。
- ③ボウルに**A**を入れてよくこねて、食べやすい大きさに分けて丸めておく。
- ④白菜は2cm幅に切り、しいたけは軸をとって薄切り、にんじんは薄い短冊切りにする。
- ⑤鍋に水と**④**を入れて火にかけ、煮立ったら**③**と**B**を加えてさらに煮る。
- ⑥器に盛り付け、お好みできざみねぎをちらせば完成。



教えてくれたのは  
栄養管理科  
西馬 沙樹さん



## Access 交通のご案内



## 堺区・南区方面に送迎バスを運行中!

堺区ルート 19本/日 南区ルート 8本/日

●運行ルート・時刻表につきましては、ホームページでご確認ください。

**無料**  
※平日のみ

### バスでお越しの方

中もず駅前、石津川駅前、深井駅、泉ヶ丘駅、若竹大橋、梅・美木多駅、堺東駅前

上記の南海バス停留所から、堺市立総合医療センター行きバスをご利用ください

### 電車でお越しの方

JR阪和線津久野駅 徒歩約5分

### 車でお越しの方

阪和自動車道「堺IC」より10分

阪神高速道路15号堺線「堺出口」高架道を出口まで進み国道26号線より15分

### 駐車場料金のご案内

一般ご利用者(お見舞い等)	当日受診された方	手術付き添いの患者さんのご家族等
最初の1時間 <b>200円</b>	5時間まで <b>200円</b>	24時間まで <b>200円</b>
最初の30分以内に駐車の場合は無料。以降30分毎に100円		当日受診された障害者手帳をお持ちの方 <b>無料</b>



地方独立行政法人 堺市立病院機構

**堺市立総合医療センター**

SAKAI CITY MEDICAL CENTER

〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号

**TEL.072-272-1199**

<https://www.sakai-city-hospital.jp/>